

2011年 第23回JFクラス全日本選手権大会 参戦記 (2011/10/09~10)

J-683 池田 成利 (奈良県船頭組合厳選観光案内所) 記

秋晴れの中 今年も精鋭達が 日本の中心へ集まった。いつもながら あまり敵にたくない強者ばかりだ。例年は市販艇全日本大会と併設開催だが 市販艇の艇数 種別も増え単独開催に伴い今年は RMとの併設となった。まさに協会の趣旨と方向性が実った結果である。 JFクラスについても同様の施策が実る事とを強く思うのである。

今回の参加は関西からの6艇と中部開催にも関わらず まさしく関西大会となった。冒頭にも書いた通りの秋晴れで石川会長の開会の辞で和やかに始まった。が、しかしレースはそうには行かない様だ。宗助選手が 今回新艇?でいきなりのトップフィニッシュ。36/600ベースの石川会長に追い立てられながら辛うじての2位。第2レースはやはり石川会長艇、第3レースでやっとのトップフィニッシュ。微風はとても難しい。しかも日本一重たい(約4kg弱)かつ コンベンションリーグの船頭の艇が スイングリグを装備したフルカーボンの36/600ベース(2.5kg)に太刀打ちできるのか?!? しかしながらモノは考え様! いったん走り出せば 重いほうが止まりにくい・・・と自分に言い聞かせ?!気分リフレッシュ!!といきたい! スタートは狙い通り!行き足もまずまず!!風も若干上がって来た。今度こそは・・・そこは全日本。日本一番を狙った強者ばかり、橋本本部長が36/600ベースで仕掛けてくる。しかも上りレグでだ。軽さとスイングリグの特性を生かすならばフリーレグと高をくくっていた私は思わず「何で?」と声が出てしまった。と すかさず「隙があったら 普通は行くやろ!」と返され まだまだ隙だらけなのかと気づかされる始末だ・・・(んんんんん・・・修行が足らぬか!) その後も トップが取れずまま 2日目も終盤が迫ってしまった。ふと 振り返ると 吹けば落ちるはずの36ベース艇 石川会長艇と橋本本部長艇が交互にトップを分け合っているではないか!?サスガの重鎮である。 私は 何とか 2位にねじ込むのが精一杯だ。あまりにも不甲斐無さが目に付いたのか 石川会長より最終レース前に貴重な指導を頂いた。そのかいあってか 最終レースはトップフィニッシュ! 終わり良ければ全て良し?!?

今回、36ベース艇の健闘が際立った。微軽風では勝算があるのかも知れないが それは軽量ゆえのフリーレグでの加速の良さを生かした走りが大きく貢献すると考えていたが 上り角度、スピード共引けをとらない。と言うか 今回はヤラレテしまった感が大きく残った。建造制約が少ないJFクラスにとってこれは今後 大きな脅威となるかもしれない。FRPハル？にコンベンションリグこそザ・ヨット！ 10年選手の日本一重たいJFが勝てた事が 皆様に何かの影響があれば幸いです。古い艇が遅いわけではない！！（ここは強く言いたい！）重い艇が遅いわけではない！！（ここも強く言いたい！！）面白いクラスJF！何れにせよ この古式ゆかしいクラスが まだまだ開発の余地を残したクラスと言う事だ。それより船頭の方がまだまだ開発途上で修行が足りぬと言う結論になってしまう。鍛錬、鍛錬なのである。

終わりに レースに集中できたのも 中部支部の皆様のおかげで実現できたものでとてもお世話になり有難う御座いました。